



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp 区議団 <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/> →
くに子ブログ <http://s-kuniko.jugem.jp/>



2024年6月9日No1359号

区役所直通3802-4627

fax3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

6月27日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は随時相談に応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

2024年度の議会構成が決まりました

5月31日の荒川区議会開会会議で1年間の議会構成が決定しました。斉藤くに子は所属委員会が変わり、文教子育て委員会・若者支援特別委員会になりました。

心機一転、調査研究をすすめ区民の声を届けていきます。

◎委員長○副委員長 △理事	常任委員会				議会運営	特別委員会			
	総務企画	文教子育て	福祉区民	建設環境		震災災害	観光文化	援助団体	若者支援
日本共産党	横山 幸次	△ 斉藤 邦子 小島 和男	北村 あや子	相馬 ゆう子	相馬 ゆう子 △ 横山 幸次	小島 和男	北村 あや子	△ 相馬 ゆう子	横山 幸次 斉藤 邦子
自由民主党	△ 鎌田 理光 ○ 菅谷 元昭	西川 浩平 △ 夏目 亜季 ◎ 並木 一元	△ 若林 由季 ○ 明戸 真弓美	町田 高 △ 茂木 弘 ◎ 斉藤 泰紀	鎌田 理光 △ 明戸 真弓美 ◎ 茂木 弘 並木 一元	◎ 夏目 亜季 茂木 弘 △ 並木 一元	○ 西川 浩平 △ 明戸 真弓美 北城 貞治	◎ 鎌田 理光 △ 菅谷 元昭	○ 若林 由季 町田 高 △ 斉藤 泰紀
公明党	△ 森本 達夫 菊地 秀信	○ 松田 智子	◎ 山口 幸一郎 △ 保坂 正仁	△ 増田 峰子	増田 峰子 ○ 森本 達夫	△ 山口 幸一郎 菊地 秀信	◎ 増田 峰子 △ 森本 達夫	○ 保坂 正仁	△ 松田 智子
ゆいの会	△ 花澤 昭信 ◎ 竹内 明浩	△ 清水 啓史	△ 大月 健弘	△ 山本 剛 宮本 舜馬	山本 剛 △ 清水 啓史	△ 山本 剛 ○ 竹内 明浩	△ 大月 健弘	宮本 舜馬	△ 花澤 昭信 ◎ 清水 啓史
立憲民主党	鬼頭 あきゆき	久家 しげる					鬼頭 あきゆき	久家 しげる	
日本保守党				小坂 英二				小坂 英二	
維新・子育ての会			山田 晴美					△ 山田 晴美	

	議長	監査	副議長
2019年度	茂木 弘	並木 一元	菊地 秀信
2020年度	明戸 真弓美	北条 貞治	保坂 正仁
2021年度	菅谷 元昭	茂木 弘	保坂 正仁
2022年度	志村 博司	斎藤 泰紀	松田 智子
2023年度	町田 高	明戸 真弓美	菊地 秀信
2024年度	北城 貞治	菅谷 元昭	菊地 秀信

議長は町田高議員が一身上の都合により辞職願が提出され、議長選挙が行われて北条貞治議員(自民党)が32票中26票で選出されました。副議長は継続で公明党の菊地秀信議員です。

また、議会選出の監査委員も明戸議員から菅谷議員

に交代しました。議員の任期4年継続してもいいのですが、議長も監査委員も一年交代になっています。



11月13日に任期満了の区長の選挙は
11月3日告示／11月10日投票



高齢者補聴器購入補助額 4月から72450円にアップ

高齢者補聴器購入助成の上限額を25,000円を72,450円に引き上げます。4月にさかのぼって実施しますので、すでに4月5月に補助金受給済みの方には差額を支給します。

これは東京都が4月から始めた「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業(補助2分の1)」を活用して行います。

日本共産党区議団は、今年2月議会で上限を10万円にする条例提案をしました。この時は他会派から賛同を得られませんでした。区民要望の補助額引上げに近づきました。

■2022年6月1日事業開始。
2022年度2023年度で246名に補助金給付。

補助額6,132,000円。
補聴器の購入最多価格帯

10万円～12万5千円

■5年毎に補助対象となることに…

手続きの流れ

1 区への相談



対象要件確認後、
申請書をお渡し
(代理申請可)

2 耳鼻科受診(申請書持参)



医師が補聴器の必要性を認めた場合は、
医師の意見書欄に医師が記入

3 申請書の提出



「耳鼻咽喉科医師の意見書欄」に医師が
記入済みの申請書を
区に提出

4 区の助成決定



申請書の内相を確認し、
助成金決定通知書を区が送付

※通知書が届いてから購入してください

5 補聴器の購入

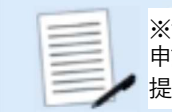


医師等から紹介された認定
補聴器専門店で購入

※補聴器のメンテナンスが出来るお店を推奨しています

6 助成金の請求・確定後振込

区に領収書(写し)と保証書(写し)又は購入品のわかるもの、請求書を提出



※領収書(写し)は必ず
申請者本人名義のものを
提出してください

都は非課税者144,900円・課税者72,450円に設定していますが、荒川区は昨年4月から補助の対象を住民税非課税の方から前年合計所得350万円未満の方に拡大し、補助額に差を設けなかったことから課税者の上限額72,450円に統一したようです。

引き続き購入費用の実態にたった補助額の引上げを要望していきます。



峡田小・ひぐらし小 教室不足で校舎増築に



無秩序な「マンション開発」が教育環境に影響
将来の30人学級も展望した小中学校の計画策定を

日暮里地域での相次ぐマンション建設による児童数の増加と35人学級の実施などで、教室の不足が見込まれる峡田小とひぐらし小の増築工事が行われる。

峡田小は隣地を購入し、せっかく校庭の拡張したが、そこに増築校舎を建てることに。

給食室も含め事実上、分校の建設だ。

ひぐらし小は、隣接する西日暮里二丁目ひろば館施設を学校施設に転用して普通教室に改築。

区が進めている西日暮里駅前再開発などの増加分は、想定されているのか。

今後、30人学級などになった時に、また教室不足にならないか心配だ。

かつて荒川区は「子どもが減少」するとして「学校統廃合」を繰り返してきた。その結果、特別教室を普通教室に転用することも常態化してきた。

今回の増築は、その後始末とも言える。

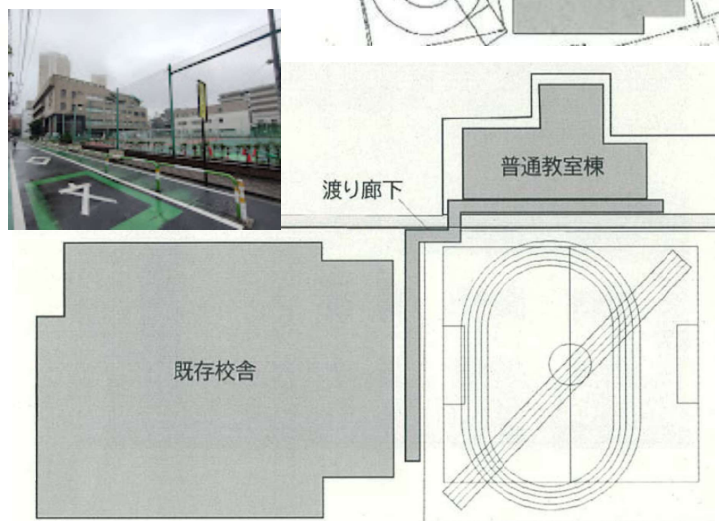
義務教育に責任を持つ教育委員会と、教育環境整備の責務を負う荒川区は、子どもを第一に先を見据えて、考えてもらいたい。



峡田小学校



ひぐらし小学校



工事内容

峡田小 鉄骨4階 延べ面積2300㎡
普通教室12、職員室、保健室、給食室、図書室、多目的室、学童クラブ、放課後子ども教室、屋上庭園（既存校舎をつなぐ渡り廊下）

ひぐらし小 鉄骨3階 延べ面積830㎡
普通教室5、職員室、保健室、配膳・洗浄室、既存校舎とつなぐ渡り廊下（既存校舎の給食室全面改修）

※今年7月着工、来年2月工事完了4月供用開始

世田谷区の学校給食で有機米を

世田谷区では2023年度は各校で6回の有機米を使った給食実施し、米の産地・銘柄(秋田県産あきたこまち・千葉県産粒すけ・栃木県産コシヒカリ・新潟県十日町産コシヒカリ・新潟県南魚沼産コシヒカリ・宮城県産ひとめぼれ)をホームページで公開しています。また、生産者の方々より有機米生産の苦労や児童生徒へのメッセージなども紹介しています。



お米の総生産量に占める有機米の割合はわずか0.12%です。学校給食で調達することになれば農家の皆さんにとって安定した供給先になります。

2019年～2028年を国連「家族農業の10年」として定め、家族農林漁業こそ、経済的、社会的、環境的に持続可能な形態として、各国の農業政策の中心に位置づけるよう呼びかけています。

品目	国産	品目	国産
小麦	40.2	いんげん豆	74.7
大豆	69.5	えんどう類	34.6
さつまいも	99.1	オクラ	100
じゃがいも	97.4	キャベツ	99.9
さといも	98.3	しいたけ	97.3
豚肉	89.5	大根	99.7
鶏肉	99.1	たまねぎ	99.1
牛肉	78.9	トマト類	52.1
チーズ	39.5	にんじん類	99.7
粉乳類	39.8	はくさい	99.8
バター類	88.2	ピーマン類	79.9
かんきつ類	70.6	ブロッコリー	56.3
りんご	96.4	レタス	100

は利用割合が低いもの

文科省学校給食栄養報告20.6

荒川区の学校給食の食材は地元のお店から調達しています。有機米、肉魚・野菜も国産を、国産小麦のパンなど、地元店と連携して調達するにはどうしたら良いのか。

学校給食費の保護者負担がなくなりましたから、荒川区が食材費予算を増やして安全・安心の食材を提供するルートを作る検討が必要だと思います。

みなさんのご意見も聞き、世田谷区や千葉県いずみ市の取組などの調査も行い、提案していきたいと思っています。



斉藤くに子 今度は腱板損傷

昨年の10月16日、くに子の区政ニュースを区役所控室から、配布準備のために日本共産党地区委員会に運搬。自転車の前後に載せて事務所前の縁石を乗り越えようとした時に、左腕に衝撃が走り、手が上がらなくなる。

翌日、整形外科に行きレントゲン検査。特段異常なしで湿布薬を処方される。

すでに半年以上が経過。手は上がるようになり日常生活はなんとかになっているが、腕を回す時の引っかかりや就寝中の痛みや違和感は取れずにずっときた。

水泳やヨガなど私のリフレッシュは出来ない。大丈夫かなとやってみるが力が入ると、やはり痛い。

このままで良いのか？ネットで色々調べると「肩腱板損傷」ではないか！！これはMR検査でないとわからない。スポーツや仕事での肩の使い過ぎ、また加齢が原因で70才では半数が切れているとも言われるが、その6割は痛くないと。炎症もなく、他で補っているからのようだ。

専門病院を探して検査、診断を受けたところ「肩甲骨と上腕骨をつなぐ4つの筋肉のうち、棘上筋・棘下筋・肩甲下筋で、また上腕二頭筋筋長頭腱の4カ所で損傷が見られる。さらに肩峰の一部に骨棘(ほねのとげ)もあり圧迫している」

同じ症状で手術を受け全快した友人の話しも聞き、迷ったが関節鏡視下手術を受けることにした。手術は一泊二日、その後リハビリが必要。やってみないとわからないが、前回の骨折(2022年5月)に続いて「くに子の区政ニュース」を暫くお休みすることになる。その前にもテニスで足の肉断裂でギブス生活、3回目のケガとなる。イヤイヤ参った参った！！どうぞよろしくお願いいたします。

